

平成19年度湖南省市予算編成基本方針(要旨)

【部局枠予算】

部局枠予算編成方式とは、各部局で認められる予算総額を市長から各部局長に明示し、その予算枠内で各部局が自らの裁量で主体的に予算原案を編成する方式で、次のような効果を期待します。

1 予算効果の最大化(ムダの排除)

従来、課毎に個別対応してきた案件を部局で取りまとめることにより、予算の効率的な編成を可能とする。

2 施策と財源確保の一体化(重点化、費用対効果)

部局に対して予算編成時に財源確保を併せて求めることにより、部局内において施策の優先順位化を促進し、優位な事業の選別能力を身に付ける。

3 運営単位の拡大による行政機能向上(積極展開)

部局に予算をまとめることにより、従来の小さな課でのルーチンワークよりも拡大した運営単位でのダイナミズムが大きくなるため、部局単位での行政経営能力を向上させる。

4 政策の総合による職員能力向上(市役所総動員)

縦割り主義の行政組織を財政面で一体化することにより、部局内での政策の総合化を促進するとともに、部局内の人的資源の総動員が必要となることから、個々の職員の職務能力を向上させる。

部局枠予算は、以下に示す「経常経費枠予算」と「臨時経費枠予算」で構成する。

ア 経常経費枠予算

経常経費枠については、あらかじめ各部局に対して人件費、公債費を除く経常的経費についての部局別予算枠(額)を示し、当該部局ではこれを基に予算編成方針に沿った部内(部内所属課・館)協議、調整を行ったうえ、予算見積書(要求書)を作成する。

対象科目：9節(旅費)、10節(交際費)、11節(需用費)、12節(役務費)、13節(委

託料、投資的経費を除く）、14節（使用料・賃借料）、16節（原材料費）、
18節（備品購入費のうち経常的な経費）、19節（負担金補助及び交付金）、
20節（扶助費）

イ 臨時経費枠予算

臨時経費枠については、各部局内で所属課（局・館）より優先順位を付して要求された事業に対して部局内全体としての横断的優先順位を協議し、予算の調整・検討を図る。

対象科目：13節（委託料、ただし投資的経費に限る）、15節（工事請負費）、17節（公有財産購入費）、18節（備品購入費）、22節（補償、補填及び賠償金）

【市民の参画】

事業の目的達成度や費用対効果等の観点から、あるいは事業の緊急性・必要性・優先性などの総合的な判断を基として部局毎に各課（館）から提示された 新規重点事業 継続拡充事業 縮減（廃止を含む）事業の3項目の取り組み案に対してなされた市長とのヒアリングの内容を加えてHPへの掲載や、公民館等での閲覧に供することにより広くパブリックコメントを求める。

市民から提出された意見については、各部局で枠内予算編成を行う際の参考資料として扱うとともに、予算編成作業時に市長査定等の参考として活用する。

また、提言されたパブリックコメントには、市からの回答をつけてHPへの掲載等により閲覧を行う。

【市会議員による予算提案制度】

日常の活動において市民と接する機会が多く、問題意識を持ち、施策の必要性を強く感じている市議会議員に対して、それぞれ課題を整理し、施策を議論し、それを提案する機会を提供することにより、活力あるまちづくりを進めることを目的とするもので、議員一人当たり20万円（一般財源ベース）を限度として提案されたものに対して市の担当部局と調整のうえ、議員予算提案票を提出する。

市長より実施についての予算措置を講ずるよう指示のあったものについては、担当部局はこれを部局枠予算とは別枠として予算見積（要求）書に措置するものとする。

さらに、議員は単独または、共同で提案することができるほか、他の財源が見込まれるものについては、総額を制限するものではない。